

## 産学官連携による起業支援の中心拠点を目指して ～ ながさき出島インキュベータ (D-FLAG) の概要 ～



独立行政法人 中小企業基盤整備機構  
ながさき出島インキュベータ (D-FLAG)  
チーフ・インキュベーションマネージャー

うめ つ てる ひこ  
梅 津 照 彦

1944年 (昭和19年) 山形県生まれ  
1968年 (昭和43年) 東北大学農学部修士卒、1983年 (昭和58年) 農学博士  
1968年 (昭和43年) 科研化学 (現科研製薬) ㈱に入社  
2005年 (平成17年) 科研製薬㈱を退職  
2005年 (平成17年) ㈱長崎TLO入社  
2007年 (平成19年) ながさき出島インキュベータ (D-FLAG)  
チーフ・インキュベーションマネージャー

### 1. インキュベータとは

インキュベータという言葉に耳慣れない方もおられるかもしれません。この言葉は英語のインキュベート (incubate: 卵を孵化させる) に由来し、卵を孵化させる施設から転じて、「新しい事業に挑戦する若い企業を育成支援する施設」という意味を持っております。

即ち、大学発のベンチャー企業や設立して間のない中小企業などが入居し、一定期間の経営支援などを受け、一人立ちして卒業して行くことを支援することにより、ベンチャー企業を次々と誕生させることを目指した施設であります。

インキュベータと言われる施設は、国、地方自治体、個人などが設立したもの全てを含



ながさき出島インキュベータの建物

めると全国に300から400施設程あるといわれております。このなかで、国即ち、独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下、中小機構）が運営するインキュベータは、建設中も含め全国に33カ所あります。中小機構のインキュベータには、大学等高度研究機関の研究成果を産業に活かすことを目指した「大学連携型起業家育成施設」と地域の特徴的な産業技術を新事業に活かすことを目指した「新事業創出型事業施設」の2つのタイプがあります。

ながさき出島インキュベータ（D-FLAG）は大学連携型起業家育成施設で、全国に17施設あるなかで13番目、九州地区では福岡システムLSI総合開発センター、くまもと大学連携インキュベータに次いで3番目に開設されました。長崎県下のインキュベータはD-FLAG以外にも、佐世保情報産業プラザ、長崎県ビジネス支援プラザ（ともに長崎県が運営）、佐世保市起業家支援センター（佐世保市が運営）、インキュベーションルーム万屋（民間運営）があります。

これらのなかでもD-FLAGは、①中小機構のみならず、長崎県・長崎市・長崎3大学が連携して運営に取り組んでいる、②実験室タイプとオフィスタイプを揃え、実験研究型ベンチャーの入居ニーズにも応えて多彩な業種に対応する、③インキュベーションマネージャーが常駐し、日常的に支援を行なっているという3点が特長といえます。

ここで簡単に中小機構について触れたいと思います。中小機構は経済産業省の中小企業・ベンチャー支援施策や地域経済発展支援

施策を実行する独立行政法人で、全国に9カ所に支部があり、九州支部は福岡市にあります。そのミッションは、①創業・新事業の支援、②経営基盤の強化、③経営環境変化対応の支援、④産業用地の分譲であります。創業・新事業の支援のなかに、インキュベータ施設の建設・運営があり、創業や新事業支援を通じて次世代を担うような企業を育成支援し、地域経済の活性化につなげていこうとする事業と位置づけられております。

## 2. ながさき出島インキュベータ（D-FLAG）の歩み

中小機構が運営するインキュベータの約3分の2が関東・関西圏に集中しているなかで、地方都市である長崎の地に、この施設が開設されるまでには多くの方々の努力がありました。特に、長崎県及び長崎市の連携した強力な支援があり、かつ他の施設では単独の大学との連携が多いのに対し、長崎大学、長崎総合科学大学、長崎県立大学の3大学連携による強力な支援があったからこそ、この施設を長崎に開設することができたと考えます。これは長崎県民、長崎市民の新産業の創造・地域活性化に対する強い思いが、県庁を、市役所を動かし、3大学の連携を生み、この施設を長崎市出島地区に誕生させたと思われます。

ながさき出島インキュベータにはD-FLAGという愛称がつけられています。この言葉には次の様な意味が込められています。

FLAGは旗という意味ですが、かつて江戸

図表1 D-FLAGの意味

D: Dejima in Nagasaki  
 F: Focused on new frontiers  
 L: Leading business with  
 A: Affiliated universities  
 G: Generating new business

長崎・出島で  
 新たなフロティアを目指し  
 長崎のリーディング企業が  
 大学と連携し  
 新産業を創造する

時代の出島は日本と世界を結ぶ架け橋であり、日本から全国へ、世界への情報発信基地でもあったわけですが、この地には唯一の交易相手国であったオランダの国旗がはためいていたといわれています。この来歴にちなみ、ここ出島の地において、長崎県における新産業創造の旗印となろう、ここから再び全国へ、世界へ向けて情報発信していこうという願いが込められています。中小機構は2006（平成18）年4月に長崎県及び長崎市からインキュベータに係る事業要請を受け、同年10月に長崎県及び長崎市と「事業に係る覚書」を締結すると共に、長崎3大学と「連携に係る基本合意書」を締結しました。施設は同年12月に建設工事に着工し、2007（平成19）年8月に竣工しました。

D-FLAGの入居公募は2007（平成19）年7月末から8月始めにかけて行われましたが、120%の応募があり、D-FLAGへの期待の大きさが感じられました。これら応募企業のうち書面調査とヒアリングを経て審査を通った26社が入居者として決定しました。そして、同年10月29日に長崎3大学学長、長崎県知事、長崎市長及び中小機構理事長の出席の下、D-FLAGのオープニングセレモニーがJA会館

で開催されました。

その後、各企業が次々に入居し、現在は26社全てが揃い、活発な事業展開を続けております。

### 3. D-FLAG 施設

D-FLAGはJA会館と出島ワーフ、長崎県美術館に囲まれた場所に建っております。鉄筋コンクリート4階建ての建物で、敷地面積が約900㎡、建築面積が約440㎡、延べ床面積が約1,600㎡です。約21㎡～43㎡の大きさの部屋が32室あり、実験室タイプ（20室）とオフィスタイプ（12室）に分かれております。1階入口はオートロックで、関係者以外はインターフォンで相手企業からロックの解除を受けて入室します。入口の隣にインキュベーションマネージャー室があり、4名のインキュベーションマネージャーが常駐しております。その隣には商談・相談室があり自由に利用できます。2階にはリフレッシュスペースと会議・セミナー室があり、入居企業は社内会議や訪問者との面談などに活用しております。

賃料は月額1㎡当たり3,675円（消費税込）ですが、長崎県・長崎市の賃料補助制度を受

けることにより、月額1㎡当たりの実質賃料負担は、設立5年未満の企業等は1～2年目は1,100円、3～4年目は1,600円、5年目以降は2,500円まで下がります。また、設立5年以上の企業等は1～4年目は、1,600円、5年目以降は2,500円まで下がります。

#### 4. D-FLAG への入居企業

入居企業の一覧は次に示す通りです。

入居企業の平均像は、多彩な業種の大学あるいは民間発のベンチャー企業で、資本金が1,000万円未満、従業員数が10名以下、設立5

年未満というものです。即ち、本施設に入居した企業は設立したばかりの、若々しい企業で、正に支援が必要な企業であります。この点でD-FLAGが果たす役割は大変重要といえます。

入居企業を概観的にみても、地元根ざした、幅広い多彩な分野の企業が数多く入居しており、毎月開催されている交流会のなかから、あるいはインキュベーションマネージャーによるマッチングなどから、すでに幾つもの異業種交流と新しいビジネスチャンスが生まれています。この点はD-FLAGの一つの特色といえるのではないのでしょうか。

図表2 入居企業一覧（平成20年7月現在）

企 業 名	企 業 名
石松隆和・(株)長崎TLO (D-FLAG NINE : New Industry and New Economy)	(株)ジェッター
久保工業(株)	(株)ステラ環境科学
長崎県	(株)ドリームバンク
中村享一設計室(有)	(株)コミュニティメディア
(有)インフォアピオ	(株)アップルドクター
コミュニケーションワークス(株)	(株)アンド・メンタル
NPO法人長崎県科学・産業技術推進機構	(株)KPG HOTEL & RESORT
矢澤研究室	(株)福祉サービス評価機構
(株)マサキ・エンヴェック	(有)デジタルメディア企画
music_create	吸着技術工業(株)
テスト・リサーチ・ラボラトリーズ(株)	(株)恵夢工房
サイエンスリサーチ(株)	NPO法人にんじんネット協議会
(株)Io光藝	オーループ(株)

#### 5. D-FLAG の役割・特長

D-FLAGは入居企業に対し一定入居期間（原則5年以内）の中で支援活動を行い、入居企業は事業計画を達成し、卒業することを

目標とします。入居企業の多くは前述の平均像で示したように、若くて、これから成長が期待される反面、多くの支援を必要とする企業です。常駐するインキュベーションマネージャーはこれらの入居企業へ日常的に、タイ

ムリーに、スピーディーな支援を行っております。しかし、専門的な支援や高度な支援は、中小機構、3大学、県市などの専門家に繋ぐことで、より適切な支援に結びつけるように努めています。その範囲は、技術的な支援から知的財産に関する支援（特許取得など）、資金調達支援、経営支援、マーケティング、販路拡大など多岐にわたります。また、D-FLAGは入居企業に限定せずに長崎県下の中小企業を対象とした支援活動を行っていますので、企業支援、経営相談、資金調達などを受ける希望がある方は是非D-FLAGへの訪問、あるいは電話、Eメールをお願いします。

そして、D-FLAGの最大の特長は、3大学、長崎県、長崎市と中小機構の強力な連携が構築され、D-FLAG運営においてそれが十分機能していることです。全国的にみても長崎ほど連携が上手く行っているインキュベータはなく、D-FLAGは産学連携型企業育成施設ではありますが、実体はそれに「官」が加わっ

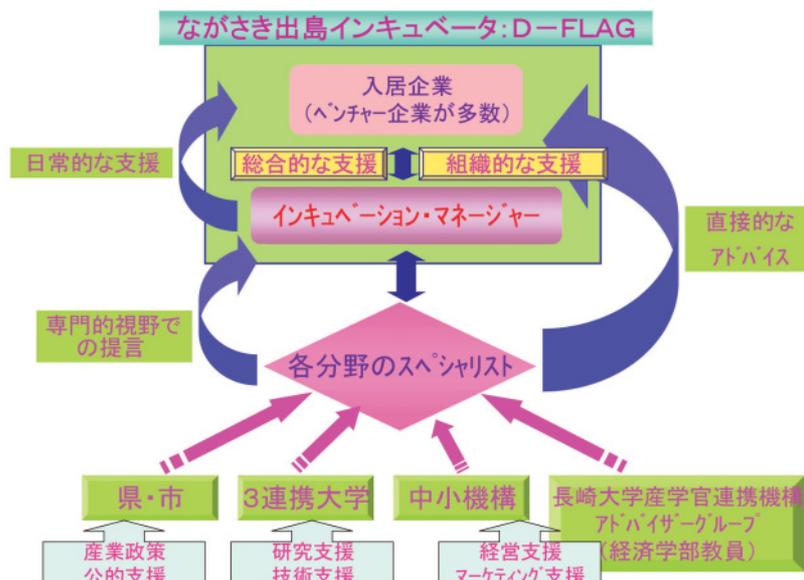
た、産学「官」連携型企業育成施設といえます。即ち、「オール長崎」の取組みで、地方における新産業創造を目指す新しいモデルケースといえるかも知れません。

また、長崎大学産学官連携機構のアドバイザーグループ（経済学部の先生を含む）から、ベンチャー企業の最大の弱点である経営的支援やビジネス支援を受けられることも特長の一つです。全国に多くのインキュベータがありますが、このような機能を持つ施設は他にはないと思っております。

入居企業のメリットは、上述したような高度な支援を受けられる他に、①ハイレベルな企業交流、②人脈、経験、知識、経営ノウハウ蓄積、③新規の共同研究や事業の展開が挙げられます。前述の通り、入居企業同士あるいは大学との連携が数多く進行し、新しい共同研究や商品開発が進んでおります。

入居するためには、入居募集の公募に応じ、中小機構九州支部の審査に合格することです。

図表3 入居企業への支援体制



入居を希望する企業を対象にしたD-FLAG倶楽部がありますので、入会（入会費は無料）し情報を入手されることをお勧めします。年4回の募集がありますので、詳細はD-FLAGのホームページを参照下さい。

## 6. それ以外の活動

直接的な企業支援以外にも種々の支援を行っております。毎月1回ビジネス懇話会を開催し、多岐にわたる講師を招聘し、主に経営面での話を伺ってきました。その後、ワンコイン（500円）パーティーを開き、セミナーに出席しなかった入居者も含め、意見交換を行っております。本年度は、出島ビジネススクールとして年5回のセミナーを企画しております。

これらの活動は毎月発行される「D-FLAGたより」に掲載され、関係する皆様へ配布されております。購読数は1,000部以上になっております。また、本年10月にはD-FLAG開設1周年記念フォーラムを企画しております。

人材育成支援の面から、長崎に若い起業家を育成するために、大学生向けの起業セミナー（出島ベンチャースクール）を開催する予定であります。子供たちにサイエンスに興味を持ってもらうために、小学生向けの夏休みキッズセミナー「サイエンス&アート」を長崎県美術館と共催で開催する予定です。これらの企画はD-FLAGのホームページに掲載されますので、興味のある方は是非アクセスしてみてください。

## 7. D-FLAGが目指すもの

D-FLAGは長崎県における企業創出の支援の役割を持っており、また、企業と3大学と県・市の連携を結びつける役割を担っております。いわゆる産学官連携のマッチングのための中核に位置しているといっても過言ではないでしょう。D-FLAGは、県庁、市役所、中心市街地にも近く、高速道路からのアクセスが良いといった出島の地の利を生かし、産学官連携のための場所を提供し、3大学との連携により技術支援の中心拠点として、総合的、組織的な起業支援を行う場所を目指して行きたいと考えております。また、起業マインドの醸成、意欲ある起業家の育成のためのセミナーなどを展開し、長崎における新産業創造拠点になれるように頑張りたいと思っております。

※中小機構では、インキュベータを「インキュベーション施設」という名称で呼んでいますが、本文中では「インキュベータ」に統一しました。

お問合せ先

**ながさき出島インキュベータ(D-FLAG)**

**IM室**

〒850-0862 長崎市出島町1番43号

電話：095-811-6800

FAX：095-811-6801

Eメール：d-flag@kaw.bbiq.jp

ホームページ：http://d-flag.smrj.go.jp/